

日本現象学会第 31 回研究大会

日時：2009 年 11 月 14 日（土）・15 日（日）

会場：人間環境大学

大会開催にあたって

今年度の研究大会および総会は、11月14日（土）・15日（日）、人間環境大学（愛知県岡崎市）に場所をお借りして開催します。

今大会では、一般発表と二つのシンポジウムを企画いたしました。一般発表は例年どおり3会場に分け、20名の方にご発表いただきます。

フッサール生誕150周年にあたる本年は、フッサールや現象学源流に関連したシンポジウムを二つ行います。

初日のシンポジウム1は、現象学研究の泰斗であり、日本にも多くの門人がおられるベルンハルト・ヴァルデンフェルス氏とクラウス・ヘルト氏にご提題いただき、塩川千夏氏と稲垣諭氏に指定討論をお願いします。言語はドイツ語ですが、原稿翻訳や質疑応答の通訳を考えております。

二日目のシンポジウム2は、現象学の源流と今後の展望を考察するという趣旨のもとで、北欧現象学会からハンス・ルイン氏、本会から武内大氏にご提題いただき、指定討論は池田喬氏にお願いしております。言語は英語です。

今回も海外から3名の方に提題者としてご参加いただき、国際交流が定着してまいりました。多くの皆様のご参加をお待ちしています。本大会に関心をもつ非会員の方々をお誘いいただくのも大歓迎です。それでは人間環境大学でお待ちいたします。

企画実行委員長

大会プログラム

11月14日（土）

10:00-12:25 個人研究発表（発表30分・質疑応答15分）

第1会場（3号館311）

10:00 竹中 正太郎（大谷大学）

フッサールにおける純粹自我と人格概念について
イデー期を中心にして

10:50 奥田 万里子（大谷大学）

フッサールにおける自己移入論

11:40 八重樫 徹 (東京大学)
フッサールにおける「真の自我」

第2会場 (3号館 321)

10:00 鈴木 雄大 (東京大学)
前期ハイデガーと『論理学研究』 カテゴリー的直観を中心に
10:50 伊藤 良司 (慶応義塾大学)
ハイデガーと「身体」
11:40 阿部 将伸 (京都大学)
ハイデガーのメタ存在論再考

第3会場 (3号館 331) (部屋番号に訂正がありました)

10:00 西岡 けいこ (香川大学)
メルロ=ポンティ 絵画論における可能的鑑賞者
10:50 三松 幸雄 (東京大学)
発生・弁証法・現象学 初期デリダの哲学研究における基本問題
11:40 國領 佳樹 (首都大学東京)
メルロ=ポンティの錯覚論とその射程

12:30-14:30 昼休み

第1回委員会 (場所: B館 6階大会議室)

14:45-17:45 【シンポジウム1】 (場所: A館)

フッサール生誕150年記念シンポジウム

提題者:

ベルンハルト・ヴァルデンフェルス氏 Bernhard Waldenfels

「間接的記述 (Indirekte Beschreibung)」

クラウス・ヘルト氏 Klaus Held

「エトムント・フッサールの現象学における神 (Gott in Edmund Husserls
Phänomenologie)」

指定討論者: 塩川 千夏 氏 (成蹊中学高校教諭)

稲垣 諭 氏 (東洋大学)

司会: 榊原 哲也 氏 (東京大学)

山口 一郎 氏 (東洋大学)

18:00 - 20:00

懇親会 会場：学生食堂（会費 5000 円）

11 月 15 日（日）

9:30-12:45 個人研究発表（発表 30 分・質疑応答 15 分）

第 1 会場（3 号館 311）

9:30 畠山 聡（成城大学）

Anomalität の経験と経験の Abbau

フッサーリアーナ第 14 巻テキスト 6 の読解を通じて

10:20 福光 瑞江（京都学園大学）

フツサールの「触発」をめぐる攻防

11:10 澤田 哲生（日本学術振興会）

フツサール空想論の射程再考

12:00 秋葉 剛史（慶応義塾大学）

後期ブレンターノの存在論について

第 2 会場（3 号館 321）

10:20 佐藤 駿（東北大学）

現象学的認識論における理性概念

11:10 富山 豊（東京大学）

初期・中期フツサールにおける意味概念の動揺

12:00 金 正旭（北海道大学）

エミール・ラスクの超越論的現象学

『論理学研究』の批判的受容を通じた超越論哲学の刷新

第 3 会場（3 号館 331）（部屋番号に訂正がありました）

9:30 呉羽 真（京都大学）

意識の科学的説明における現象学の位置

10:20 落合 芳（関西学院大学）

「不滅」の過去と身体図式 メルロ=ポンティにおけるブルースト

11:10 髷田 大介（慶応義塾大学）

「沈黙」と「翻訳」 ハイデガーによるヘルダーリン解釈への一視座

12:00 景山 洋平（東京大学）

ハイデガーにおける単独性と複数性の存在構造

13:00-14:00 昼休み

第 2 回委員会（場所：B 館 6 階大会議室）

14:15-14:45 総会 (場所：A 館)

15:00-17:30 【シンポジウム 2】(場所：A 館)

「今日の世界の哲学状況におけるフッサール現象学の射程」

(Considering phenomenology for the future world, once again from the beginning)

提題者：ハンス・ルイン 氏 Hans Ruin (Södertörns 大学, Stockholm in Sweden)
武内 大 氏 (東洋大学)

指定討論者：池田 喬 氏 (学術振興会研究員、東京大学)

司会：谷 徹 氏 (立命館大学)